

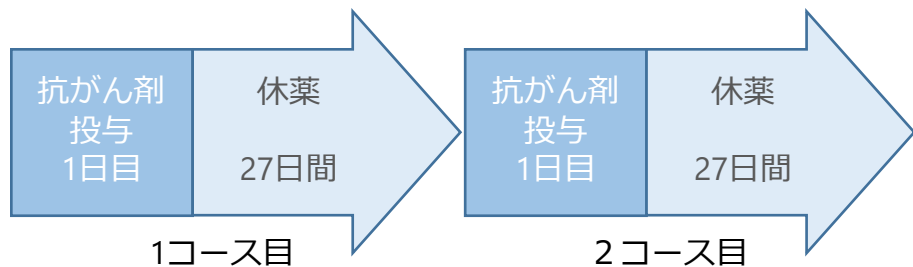
封入型ドキシソルビシン+カルボプラチン療法を受けられる患者様へ

治療法について

ドキシソルビシンとは、がん細胞の分裂を阻害して腫瘍の増殖を抑える抗がん剤です。ドキシソルビシンがより効果的にがん細胞に取り込まれるように特殊な膜で薬を封入しています（商品名;ドキシル）。カルボプラチンとは、がん細胞の分裂を阻害して腫瘍の増殖を抑える抗がん剤です。2つの異なる作用をもつ抗がん剤を組み合わせることで治療を行います。

投与スケジュール 今日 (/) は サイクル 日目

1日目に2種類の抗がん剤を投与します。後の27日間を休みとし、28日間を一区切り(1コース)とします。



ここに示したスケジュールは参考であり、患者さんの状態や副作用によって変更することがあります。

点滴で投与する薬について

デキサメタゾン
パロノセトロン

吐き気止めのお薬です。
30分かけて投与します。

ドキシル
(mg)

抗がん剤です。
尿の色が赤くなることがあります。
60分かけて投与します。

カルボプラチン
(mg)

抗がん剤です。
30~60分かけて投与します。

生理食塩液

お薬を洗い流します。
5分かけて投与します。

内服薬について

1日目	2日目	3日目	4日目
			

吐き気止めのお薬です。吐き気が無くても服用してください。

副作用について

自覚できる副作用

アレルギー反応
急性嘔吐

熱感・かゆみ・動悸などの症状が現れたら、すぐにお伝えください。

遅発性嘔吐
食欲不振
便秘 倦怠感

気持ちが悪い時には我慢せずに申し出てください。他にもお薬があります。

口内炎 下痢

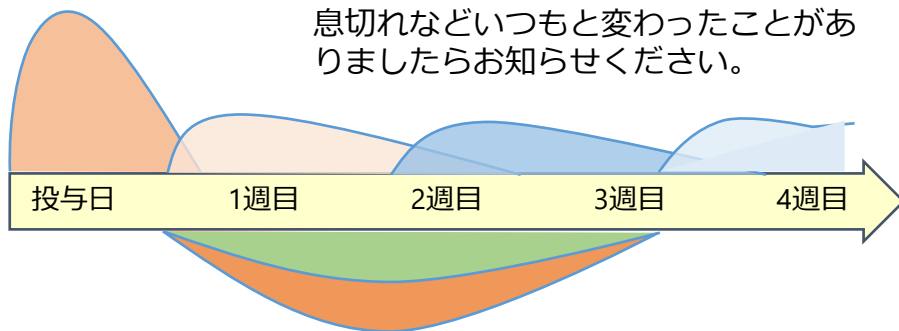
口内炎・下痢・便秘にはお薬が有効です。遠慮せずに申し出てください。

手足症候群

手足が赤くなる、ひりひりする、皮がむける、水泡ができるなどの症状があります。

心機能障害

心臓に負担をかける作用があります。発現時期は定まっていません。動悸、息切れなどいつもと変わったことがありましたらお知らせください。



肝障害 腎障害

白血球減少
血小板減少

感染予防のため、手洗いをこまめにしっかりと行いましょう。38℃以上の発熱がある場合は病院に連絡をして下さい。

自覚できない副作用

その他にも気になる症状がありましたら、お気軽に医療スタッフまでご相談ください。